



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3 丁目 10-15 富士ビル 505 号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

汚染水海洋放出反対 2023 原発のない福島県民大会開催



3月19日、福島市の飯坂パルセで原発事故から12年目を迎えた県民集会が開催されました。会場には県内外から900人の参加者が集まり、持ち込まれた多くのプラカードやのぼりには「汚染水放出反対」のスローガンが書き込まれていました。



プログラムを実践している東和町の町民、県内の若者有志で原発反対運動を続けている団体「タッペ」代表、そしてADR闘争の原告団でもある飯館村の村民の方々でした。ともに12年目を迎えた今でも「原発事故は終わっていない」「飯館村の遅すぎた避難指示での過酷な避難生活」「風評ではない現実存在する放射能汚染」など土地も人の心も原発事故ですべて崩壊したくやしさを抱えたまま12年目を迎えている実態が訴えられました。最後には高校生平和大使から若者の視点で原発の恐ろ

しさを同世代に伝えていく大切さが提起されました。全体を通して、政府の老朽原発の運転延長や新型原発増設、ALPS汚染水の海洋放出など福島原発事故を教訓としない原発政策見直しは絶対に許さないと参加者全体で確認されました。とりわけ汚染水放出を春から夏にかけて実施すると明言する政府。ただの水ではない「溶け落ちた燃料デブリ」を冷やした汚染水。取り除けないトリチウムだけではなく、いくら薄めてもゼロではない放射性物質を含む汚染水。何としても止めなければならぬと強く感じた集会でした。

集会には、日音協から二階堂・南條・坂口の3名が参加しました。

(南條善徳)

3・21さようなら原発全国集会に4700人

3月21日、『さようなら原発』一千万署名市民の会の呼びかけで、さようなら原発全国集会が東京都渋谷区の代々木公園で開催されました。約4,700人が参加しました。

鎌田慧さんは、「原発に回帰などできるはずがない。クリーンエネルギーというのはうそばちだ」と岸田政権を批判しました。

集会後、渋谷などの市街地をデモ行進して「老朽原発の再稼働やめろ」「フクシマを忘れない」などと訴えました。

日音協は集会に先立ち、代々木公園でテント前ミニコンサートを開催。Piggies、ういみん、反原発歌いたい、チャレンジャー周平さん、Rico & Tatsu、守屋真実さん、狭石啓子さんが演奏したほか、みんなで歌うコーナーも設けました。

また、うたの仲間たちとともに20人が、集会後デモ行進に出発する参加者をうたで激励しました。(松本敏之)



2023.3.21 さようなら原発全国集会

私鉄バスのうたごえは宝

23春闘を全国から478名の私鉄青年女性が結集し、職場からたたかうことを意志統一するため「第61回私鉄バスのうたごえ」が2月27日に浅草公会堂で開催され、ピアニスト梶谷さんと私鉄全国音楽集団の20人が伴奏と歌唱で参加しました。

開会前に「輝く未来へ」を瀬崎さん（東武労組）、「希望のうた」を宮田さん（京成電鉄労組）が歌唱指導しました。参加者が客席ではマスク着用のためにどれくらい歌っているのか感じる事が難しかったですが、うたごえの会場に戻ってこられたことを意識することができました。

開会で私鉄総連池之谷副委員長は「うたごえ開催にあたり参加者を送り出し職場を支えている全国の組合員をはじめ、音楽集団やスタッフに感謝。全国的に人員が減少傾向で長時間労働と低賃金により離職者が増えている。賃金や労働環境改善と交通政策要求実現へ組織内議員森屋隆を通じて改善していくことが改めて必要なことを実感した。次期参議院選につなげていく。23春闘は人への投資の必要性の推進方針を決め、賃上げで未来をつくる。全国がつながっていることを実感して職場に持ち帰ってほしい」とあいさつしました。

最初に甲神静ブロックの構成詩「次の世代に平和な地球を」では環境問題などを考えて食糧不足などを取り上げて一人ひとりができることをやっていこうと訴え、中部地連は構成詩「どうする育児」で育児などを全体で考えることを提起。四国地連は合唱で「私鉄の仲間たち」「SAN（星野源）」、九州地連は構成詩「アフターコロナの未来へ」ではコロナ禍での職場実態と賃上げの必要性、さらに選挙行動と政治の必要性を表現しました。東北地連は構成詩「東北だよ！～全員集合～」ではコロナ禍で我慢していることと作業が増えている現状と職場を支えている組合員に報いるための賃上げを春闘で勝ち取ろうと訴えました。私鉄北海道の「春闘カップ 日本代表」で春闘交渉の内容を試合形式で表現、関東大手

ブロックは合唱「想いはひとつ」と「輝く未来へ」。関西地連は構成詩「出てこい撲滅ヒーロー！・育児休業取れるんかい!？」では職場のハラスメント撲滅と育児の取得を訴える内容。東京ブロックの構成詩「想いはひとつ」としてコロナのなかで人員不足の職場実態や利用者減でさらなる合理化がすすむ、職種を越えて連携して声をだしていく、ひとりはみんなのためにとにもがんばろう、社会を変えるために主体性をもって行動をと呼びかけました。私鉄沖縄は「琉球愛歌」、私鉄中国は構成詩「いつもの日常“うたにあと押しされて”」では日常をテーマに要員不足やコストカットに対して声をあげていこうと訴え、北陸地連の構成詩「転生したら…」では一人では弱い存在でも団結して同じ目標をめざしていく物語（TVゲーム風）で締めくくりました。

印象に残った内容としては「仮に一回賃上げを我慢したとしたら、ひと月5000円（金額はすべて仮でどこの発表かも？で正確ではなくて申し訳ありません）が一年で6万円（仮）、30年として生涯賃金がウン百万円（仮）違ってくるんだぞ」というセリフがあり、その通りであるとともに一時金も絡むとものと膨らむのでそういう学習の成果や先輩たちの話から学んだ事実を広めることも増やしてほしいと感じました。

私鉄全国音楽集団としては『みんなで歌おう』のなかで「戦争はさせない」と「ねがい」を発表しました。関東として昨年末の2回に加えて今年2月のあわせて4回のみの練習でしたが、集団としてソロアレンジなどを加えうたごえのめざすところを表現、反戦平和もめざしていくことを訴えました。松浦代表（東武労組）がいう「私鉄バスのうたごえは宝」は4年ぶりに開催しなんとかつなぐことはできたものの、うたごえを持ち帰って職場に広める感動や力量を私たちも含めて強くしていく活動を継続することが求められていると思います。

（私鉄全国音楽集団事務局長・根本）

「TASFC」（富山アコスプリングファミリーコンサート）開催

コロナの縛りも緩やかに溶け始め、各地から演奏要請が来るようになりました。一つの区切りとして演奏会をやることで準備をし、3月19日（日）にファミリー（妻、妹、孫）という内輪で開催しました。

プログラムは、オープニングの全体合奏「アリア」「こきりこの唄」で、会員の独奏、デュエット、「春を歌いましょう」で会員の伴奏で歌ったりしました。エンディングは全体合奏で「メヌエット in G」。終了後はいつものとおり茶話会で感想会を行いました。いつもと違う多少の緊張感の中での演奏を経験しました。

今後は、レパートリーを増やすことと、新潟県の「音楽祭」に参加できたらと思っています。

（富山アコ研・磯野友一）



2023岩手県支部総会 対面形式で11名参加



3月12日、岩手県支部総会が開催されました。総会では、経過・方針・新役員が確認された後、会員の近況報告を交わし、長岡音楽祭への参加に向けて発表曲の選考などの打ち合わせをしました。（佐藤康弘）

【2023年度役員体制】

会長	高橋 伸明（自治労）
副会長	及川 隆浩（平和環境セー）
事務局長	佐藤 幸子（久慈地区）
事務局次長	三田地昇二（宮古地区）
〃	高橋 円（盛岡地区）
幹事	及川 孝（国労）
〃	中村 真也（岩教組）
〃	新毛 郁子（二戸地区）
〃	小笠原早苗（久慈地区）
会計監査	八屋ひろ子（久慈地区）

2023 日音協沖縄行動（要旨）予定

【日程】

5月12日（金）

- 15:00 全国結団式（琉球新報ホール）
- 17:00 送り出し演奏練習（那覇市内）
- 19:00 懇親会（那覇市内）

5月13日（土）

- 8:30 出発式（読谷村役場：送り出し演奏）
平和行進参加（嘉手納町民広場まで）

11:30 嘉手納町民広場到着（予定）

14:00 舞台演奏練習（那覇市内）

19:00 ミニコンサート形式の全体交流会

会場 宮城スタジオ 沖縄県那覇市鏡原町 33-6

5月14日（日）

9:00 県民大会準備

10:30 復帰51年第46回平和とくらしを守る
県民大会（沖縄コンベンションセンター劇場棟）

12:15 沖音協・日音協合同反省会（那覇市内）

後解散 17:00 オプション：懇親会

※まだ未定の部分あり。決定後、詳細は各支部に発文します。

申し込みなど、日音協にお問合せ願います。



5・3 水・休

開演 11:00 / バレード開始 14:30

有明防災公園
東京臨海広域防災公園

主催：平和といのちと人権を！5・3 憲法集会実行委員会
info@kenpou2023.jp
https://kenpou2023.jp/information/2023/
共催：戦争させない・9条増すな1総がり行動実行委員会
9条改憲 NO！全国市民アクション（info@kaikenno.com）
戦争させない1000人委員会（03-3526-2920）
憲法9条を壊すな！実行委員会（03-3221-4668）
戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いさず共同センター（03-5842-5611）
9条の会（03-3221-5075）



（後援：憲法集会 2023）



「戦争法の廃止と立憲主義の回復を求める栃木県民ネットワーク」は3月11日、宇都宮市中心部の宇都宮二荒山神社前で街頭宣伝「大軍拡と原発政策大転換に反対する3・11 抗議行動」を実施しました。

70人が参加し、「東日本大震災発生から12年たった今でも、全国で約3万人が故郷を離れた避難生活を余儀なくされている。二度と原発事故を起こしてはならない」と訴え、スピーチとスピーチとの間に『フクシマをくり返すな』『あたりまえの地球』など13曲をうたいました。（松本敏之）



宇都宮センター合唱団と日音協

はたらくものの音楽祭ステージあれこれ話

第6弾 《今、知ってほしい、はたらくものの音楽祭の舞台配置図の役割と描き方》

第54回音楽祭開催を前に、舞台配置図提出の時期がやってまいりました。ということで今回は、少しタイトルを変えて、「今、知ってほしい」舞台配置図のあれこれについてです。

①舞台配置図の役割

たった6分の演奏でつぎつぎに演奏者が入れ替わり、しかもその大半がリハーサルなし、という、一般的には大変厳しい条件のもとで開催される『はたらくものの音楽祭』においては、舞台配置図は、演奏者とステージ関係者（PA、ステージスタッフ、照明担当者、舞台監督）をつなぐ、唯一の情報伝達の手段です。舞台配置図がなければ、『はたらくものの音楽祭』は成り立たない、と言っても過言ではないぐらい大切な役割を果たしています。

②舞台配置図提出に際してのお願い

だからこそ、舞台配置図に記入されている内容が、実際の演奏情報を正しく反映していなかったり、大幅な変更が未伝達だったりすると、それが混乱の元となり準備に時間がかかってしまった、ということが過去の例でも度々あります。ということで以下、提出にあたってのお願いです。

★舞台配置図の1マスの1辺1.8メートルを参考にしながら配置を考え、図面に描き込んでください。

尚、コロナ感染拡大防止対策についての政府の方針転換を受け、第54回ははたらくものの音楽祭会場となるリリックホールにおいても、ステージでの規制が撤廃されました。が、推奨される間隔が提示されておりますので、舞台配置図作成においてはできるだけ、これに準じて配置をお願いします。構成により、どうしても1メートル未満となってしまう場合は、出演者の皆さんの判断にお任せします。

ただし、一つのボーカルマイクを複数で使用するなど、密集となる場面はできるだけお避けいただくようお願いいたします。

〔リリックホール シアターの推奨配置基準〕

- ・ボーカルは横1m、縦2m
- ・吹奏楽器 横1.5m、縦2m

★作成者任せにせず、記入した内容に間違いや漏れがないかを演奏者全員の目で確認してから提出するようにしてください。

★提出後に変更が出た場合は、速やかに連絡をお願いします。大幅な変更は、舞台配置図の再提出をお願いします。諸事情により、当日の急な変更が生じた場合も速やかに連絡をお願いします。

連絡先 090-7945-6400（坂口携帯）

③バウンダリー型コンデンサーマイクの使用について
使用を検討されている場合は、演奏によって合う、合わないなどの条件を、2022年11月号音楽運動の『いまさら聞けないあれこれ話』に記載していますのでご参照ください。ただし実際には、会場の大きさや響き方によっても違って来るので、演奏してみないと、本当に合うのか合わないのかはわからないので、リハーサルすることを強くお勧めします。

④照明について

今年の音楽祭も、昨年の水戸の音楽祭同様、経費削減の理由から、ホリゾン幕の色（演奏者の背景色）と演奏者にスポットをあてる、照度の量の調整程度の照明となります。が、演奏時の背景の色やスポットの当て方で、客席から見るステージの印象は大きく違ってきます。舞台配置図提出の際には是非照明もご検討ください。（坂口美日）

若い会員の交流会 5月13日～14日に開催



開催を延期していた「日音協 2023 若い会員の交流会」が5月13日・14日にさいたま市大宮区で開催されます。

若い会員の交流会は、音楽を基本にして、若い会員のみなさんに「日音協に入ってよかった」と思ってもらえる交流会です。日音協は、新たな会員を積極的に迎えることを基本方針としていますので、まだ日音協会員になっていない若い方たちの交流会への参加も大歓迎です。詳細は、4月上旬に發文します。（担当幹事 竹内）

- 開催日程 2023年5月13日（土）13:00～
5月14日（日）12:00
- 会場 レイボックホール
RaiBoc Hall
（市民会館おおみや／さいたま市大宮区）
大宮駅東口から徒歩3分
- スケジュール
(1) 5月13日（土）
13:00 開会・オリエンテーション
13:15 1日目開始 事前に選定した曲の練習・アレンジ《適宜休憩》
20:00 1日目終了
20:30 ホテルチェックイン（大宮駅周辺）
21:00 交流会開会（大宮駅周辺）《参加任意》
23:00 交流会閉会
(2) 5月14日（日）
9:00 2日目開始 音楽祭発表曲の仕上げ《適宜休憩》
12:00 2日目終了（会場撤収含む）・閉会
- 参加費 10,000円
- その他 40歳以下の日音協会員の自宅から会場までの往復交通費は、日音協が全額負担します。申込時に交通費を明記してください。

長岡でお待ちしています

全国の皆様、お元気ですか。「第54回はたらくもの音楽祭」(以下、「長岡祭典」)に向けた準備は進んでいらっしゃいますか。今月来月と2回に分けて、新潟県実行委員会の準備状況をお知らせすることになりました。

長岡祭典に臨むに当たって、どんな会場で演奏することになるのかだけでなく、現地全体の雰囲気やどんな状態なのか、不安な方も多いと思います。皆様の不安を少しでも解消できるよう、地元ならではの情報も折り込みながら、お伝えできればと思います。

まずは、日音協新潟県支部を代表して、新潟県支部長 板井悌二からのあいさつです。

新潟県支部は会員数も少なく、居住地も離れていることから、活動しづらい環境にあります。月1回の定例練習が定着し、そこを起点に力を合わせて音楽祭の準備に当たっています。県実の中核として、全国の皆さんをあたたくおもてなし、音楽祭の成功と準備も含めた運動の広がりが実現できるように、各自のできる分野で力を出しながら、準備を進めています。

新潟県支部は再結成してまだ7年しか経っていません。メンバーの多くが自治労出身ということもあり、自治労の集会等での歌声中心に活動しています。何とか活動の

幅を広げたいと思っている矢先、「音楽祭を新潟県で」という要請があり、かなり戸惑いましたがピッチはチャンスと、これを受けることにしました。

開催となると、連合新潟の協力をいただく必要があります。そのことで連合との結びつきを得られるきっかけにもなると思います。

私たちの「うた」を知らない人が沢山いるという新潟県内の状況を、長岡祭典で少しでも変えられたいと思います。

【新潟県実行委員会】

実行委員会結成予定の当日はあの豪雪で、交通網が寸断される日になってしまい、急遽書面開催に切り替えました。トラブル下のスタートで、どうなることか心配でしたが、翌月には対面での会議が開催でき、何とか初動に必要な事項を決めることができました。

今回新しく取り組むことは、ポスター等で使用するイラストを公募するという試みです。長岡祭典の会場「リリックホール」の近隣に、長岡造形大学があります。この学生から応募してもらえば、若い世代に私たちの「うた」をし

てもらえるきっかけになるかもしれない、と思いました。組合員の家族にもイラストを描く方がいると聞き、募集対象を労組組合員と家族に広げ、募集することにしました。

結果して寄せられた作品は6人

から7点で、いずれも自治労組合員と家族からのものでしたが、予期していた以上に素晴らしい出来栄でした。そのことに加え、作品を作った皆さんがテーマに沿って考え、それを各自の表現で私たちに伝えていただいたということが、何よりの成果だったと思います。

当日は会場に全作品を展示する予定です。演奏と合わせてお楽しみください。

労組・団体への要請

3月2日に連合新潟の小林事務局長から同行いただき、主な差別と団体や政党を回って、協力要請してきました。労組関係11、労組関連・民主団体3、政党3でした。小林事務局長から事前に日程調整していただき、資料も用意してくれました。とても好意的に話を聞いていただけました。その場で広告了解のお返事を頂けたところもありました。

私がこれまで訪ねたことのない労組・団体が多数あり、「労働運動の裾野」のようなものを感じました。労組の組織率は年々低下して16・5%ですが、それでも様々な分野に労組があり、それぞれ特徴はありますが活動を継続しているということ。過去の先輩たちが築いてきたものの大きさ、大切さに改めて頭が下がります。

日頃は出身単組・産別、自分の地域の活動しか分かりませんが、それは日本全体の一部にしかすぎないということ。しかし「自分の位置」で力を尽くしていくことが、日本の労働運動発展の礎になるということも、臆せず心の片隅に置

いていたいことです。

そして私たちも、次の世代にきちんと引き継ぐことが役目なのだという。それは音楽運動でもまた同じこと、新潟での活動を続けていきたいと思っています。

オープニング演奏

とにかく舞台の幅や奥行きが広いので、これでも少なくて感じると思いますが、新潟で30人の参加を目標に、県内の労組や団体、知り合いに声をかけています。3月末時点で確定が21人。もう少し増える見込みで、何とか目標に届くよう追い込みの働きかけをしたいと思っています。

何をやるかは特設サイトにも掲載していただきましたが、開催地長岡が幕末から辿ってきた荒廃と発展の歴史、現在の世界情勢を踏まえた反戦平和へのメッセージを、3曲の「うた」とナレーションで綴っていきます。

長岡祭典のテーマを決めるときに出されていた言葉たちが素敵で、それに触発されて作ったこのステージのための新曲を盛り込んでいます。管楽器や力ホーンを加え、今までの新潟サウンドに幅を出そうと奮闘しています。

練習は全部で3回、しかも全てに参加できる方は少ないので、手の込んだことはせず、シンプルでも新鮮で温かみのあるステージになればと思っています。

楽しみにしていてください。

日音協新潟県支部事務局長

山本英一

(新潟県実行委員会
事務局長)

さようなら原発3.11 富山集会

「原発事故から12年・・・福島を忘れない! さようなら原発3.11 富山集会」が、3月11日(土)富山市の「ボルファートとやま」において開催された。主催は県平和運動センターなど原発再稼働に反対する市民団体で構成する実行委員会。

開会に先立ち日音協県支部が、「フクシマをくり返すな」「草たちよ(反原発バージョン)」「原発NO!」など反原発の歌を歌って紹介した。

(富山・磯野友一)



水道橋だより

▼日音協が加盟する平和フォーラムから要請(ポスターは3面)が届いています。▼あらたな戦前にさせない! 守ろう平和といのちとくらし 2023憲法大集会への参加要請について▼(要旨)ロシアによるウクライナ侵攻から1年が過ぎました。戦争終結への見通しは全く立っていません。岸田首相は、ウクライナを訪問し40億円の支援を約束しました。ウクライナの善戦を鼓舞する声が世界中から聞こえてきます。ウクライナでは多くの市民が戦争の犠牲となり、前線ではウクライナ・ロシア両軍の兵士が犠牲となっています。戦争の犠牲は、いつもどこにおいても、罪なき一人一人の市民であることを、私たちは忘れてはなりません。ウクライナ戦争を理由に、日本の軍事的安全保障の強化を叫ぶ声が広がり、それを利用するように岸田内閣は、安保関連3法を閣議決定しました。これは、日本国憲法の下での自民党のこれまでの主張であった「専守防衛」の方針をかなぐりすてる「敵基地攻撃能力の保有」やGDP1%枠に抑えてきた防衛予算倍増などを内容として、日本の戦後社会を根底から揺るがす内容となっています。憲法審査会の性急な議論を聞くにつけ、日本の平和を守り戦争を回避して行くには、「日本国憲法第9条」が最後の砦になることを、強く意識されます。(中略)

日時: 2023年5月3日(水・休)
13時00分~(本集会開会)

※11時00分~サブステージ

12時30分~オープニングステージ

場所: 東京臨海防災公園(有明防災公園)りんかい線・国際展示場駅下車
東京都江東区有明3丁目8番35号
新交通ゆりかもめ・有明駅下車

内容: 主催者あいさつ、立憲野党からの連帯あいさつ、有識者からの発言など。

参加要請: 平和フォーラムで1,500人

どん行

(165)

飯島貞親

▼今回のことで「彼ら」の化石的な思想が少しは改まるのかどうか!?

▼「袴田事件」裁判のやり直しが認められ、袴田さんが無罪となることはほぼ確定的となった。▼袴田さんは自由に基つき起訴されたが、第1回公判から無実を主張し1980年の死刑判決後も何度も再審を求め、その間、なんと45年以上も拘禁され続けた。なぜこんな非道なことがこの国ではたびたび起きるのか。▼容疑を認めないと勾留が続き保釈も認められず、長期間にわたって身柄拘束が続くという「人質司法」がまかり通っているからという。人質司法は一種の拷問で、それから逃れるには検察官の言い分どおりに自由するしかない。こうして冤罪が生じる。しかも検察は、ひとたび立件したら後に引き返すことはない。有罪判決を得なければ立件したこと自体が間違いだつたと認めることになり、その責任が問われるからだ。▼検察は自らの行なっていることは常に「正義である」としてそれらを無視してきた。検察のみならず裁判所も警察も国民が主権者だなどとは考えたことはなく、戦前の天皇主権の下で天皇によってのみ「正義」を保証されていて、「お上」として臣民を好き放題に取り締まってきた時代をいまだに当然と思っているのではないか。

歌の力が物語るもの116

菜葉坂つた行動 3/3 (467回) 報告 R i c o

【参加者】はしゆきさん、上野さん、達哉、モリヤさん、イサさん、佐藤さん、森

計7名

菜葉坂で準備をしていると、経産省前の行動から坂を上る人たちが通りかかった。今夜は官邸前や議員会館前で複数の集会が予定されているらしい。軍拡への危機感やウクライナ戦争から1年ということもあり、国会周辺では抗議活動がいくつも予定されている。菜葉坂メンバーも何人かは議員会館前に向かっていった。このところ大きな集会が金曜日に重なって菜葉坂はお休み続きたつたから、私は

ここで歌おう。

と言いつつ先月ふとした話から、はしゆきさんがケータを練習していることを聞いて、私も持つてきていた。久しぶりなのでうまく鳴らないが、初心者練習みたいにして、しばらくふたりで吹き鳴らしていた。すると近づいてくる人が「なんと上野さん! 久しぶりの再会が嬉しい。上野さんの新しい替え歌『今じゃなきや(イマジン)』を披露してもらった。YouTubeで原曲を流しながら、歌詞付けをさした。福島、汚染水、沖縄、馬毛島まで歌詞に盛り込まれている。アコ伴奏だと難しい

かな...等話しながら、マイクも使わずゴソゴソしていたら警察官が近づいてきた。「何時まで...」といういつもの質問の後、にこやかに「以前に来た時もお見かけしていたのですよ。今日は歌が聞こえなからどうしたのかなと思って」と。あら、なんか嬉しいじゃない。

では元氣よく歌いましょう。『あたりまえの地球』から始めて、上野作品の『あなたに届け』と『こどもの明日のために』。続けて『フクシマをくりかえすな』『メッセージ』。『3月3日だから』と達哉がリクエストした『ひなまつり』の替え歌も。『風車の唄』は上野さんがウクレレを奏しながら「これ、いい調子だね」とお気に入り。もう一度繰り返した。議員会館前集会に参加してきた仲間も戻ってきて、

菜葉坂が急に賑やかになった。楽器もたくさん。『私たち暮らしては私たちが決める』を歌い、最後はみんな『原子力発電NO!』を歌い上げた。

上野さんから「菜葉坂を続けてくれていて、ありがとう」と言ってもらえた。嬉しい。小さな行動でも「反原発をあらためていないぞ」と意思表示し続けたいし、こつやつて、時が経っても歌の仲間会える場でありたい。



※僕もちゃんと聞いていますよ。
・本文と写真は関係ありません。
・画像を一部修正しています。

(編集部)